

栃木群馬長野広域的観光活性化計画（事後評価）

群馬県の現状

栃木県・長野県・群馬県は、巨大な観光需要を抱える首都圏の周縁部に位置し、世界遺産である日光・富岡製糸場や善光寺を筆頭にした文化的観光地やスキーや登山、キャンプなど自然体験が出来る観光施設が多数存在している。群馬県では、平成26年に富岡製糸場が近代産業遺産として初めて世界遺産に登録されたことから、これまで以上に観光誘客の増加の可能性に高まりが感じられている。

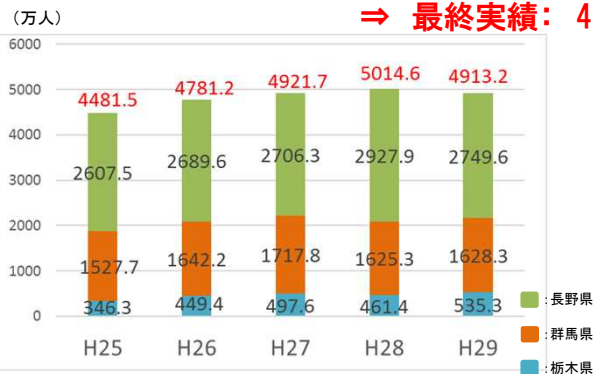
課題と目的

現状の特性を最大限に活かし、道路改築をはじめとした社会資本整備を推進する事で、首都圏からの3県への観光誘客を増加させる事を目的とする。さらに、首都圏からの誘客を各県で留まらせることなく、世界遺産等の歴史的文化遺産や豊かな自然環境を県境を越えて広域的な周遊を可能にさせる社会資本整備を行うことにより、観光集客に向けた更なる観光活性化を図る。

事業の指標と成果報告

指標1 計画区域内における観光客数

現況：4,481万人(H25) ⇒ 最終目標：4,730万人(H29)
⇒ 最終実績：4,913万人(H29)

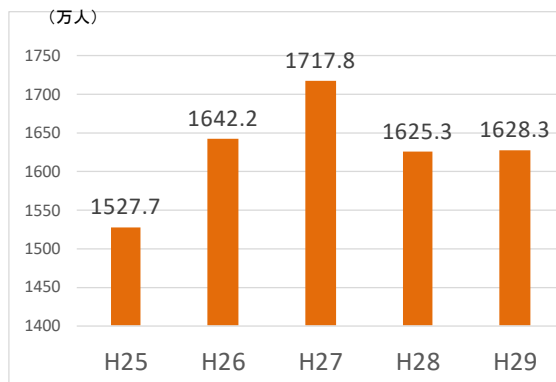


図：3県拠点施設の観光客数推移

3県とも目標以上に、観光誘客数を伸ばしており、北陸新幹線開通、富岡製糸場の世界遺産登録、日光東照宮400年式年大祭開催などが主な要因と考えられる。本計画による事業進捗も図られ、各観光施設へのアクセス性も向上している。

指標2 群馬県全域の拠点施設の観光客総計

現況：1,528万人(H25) ⇒ 最終目標：1,617万人(H29)
⇒ 最終実績：1,628万人(H29)



図：群馬県全域拠点施設の観光客数推移

観光客総計は、平成26年6月26日に富岡製糸場が世界遺産に登録されたことから、H26～H27年に大幅な観光客の増加があったため、中間評価時と比べると減少していますが、多くの宿泊客の見込める草津町までの道路拡幅が完成するなどしたことにより、最終目標値よりも約11万人増加しており、本計画の成果が現れています。

指標3 群馬県全域の地域間を連絡する道路の総時間短縮割合

現況：0%(H25) ⇒ 最終目標：34.0%(H29)
⇒ 最終実績：34.0%(H29)

国道254号富岡バイパスの4車線による全線供用(L=2.4km)やなど整備効果が発現している。

その他の定性的な成果

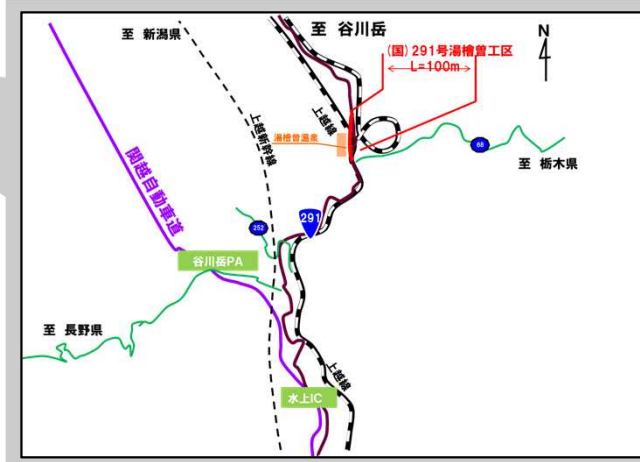
道路事業等の完成により、観光道路としてだけでなく、地元の生活道路として住民の安全な通行や生活環境の確保に寄与できた。

栃木群馬長野広域的観光活性化計画（事後評価）

整備効果事例

事例① 国道291号（湯檢曾工区）

■位置図



箇所名：利根郡みなかみ町
湯檢曾地内

■整備効果

整備前



現道の幅員が狭く観光バス等のすれ違いに支障をきたしていました。

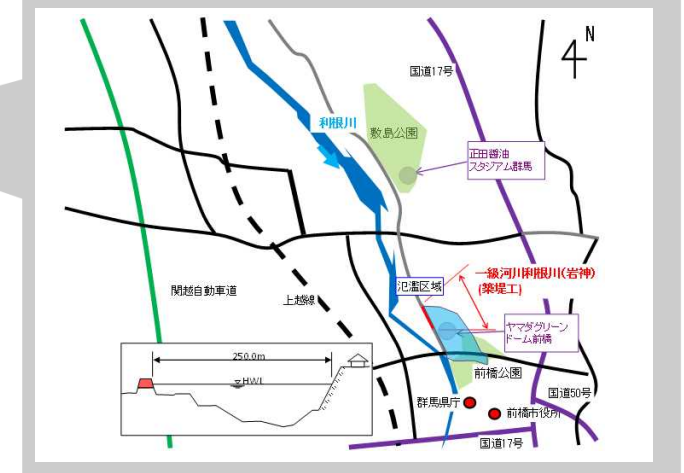
整備後



幅員狭小が改善され、谷川岳へのアクセス性が向上しました。

事例② 利根川（岩神工区）

■位置図



箇所名：
前橋市岩神町

■整備効果

整備前



無堤部があったことから、洪水に対する安全が確保されておりました。

整備後



堤防の整備により観光施設が保全され、誘客イベントが安心しておこなえます。